



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

明けましておめでとうございます 本郷ふじやま公園運営委員会 事務局長 辻 登

明けましておめでとうございます。
 本郷ふじやま公園はお蔭さまで2月に12回目の開園記念日を迎えます。これも近隣の皆様や会員の皆様のご理解とご協力、行政の適切なご指導あってのことと御礼を申し上げます。



去年は手づくりの懇親会、「ふじやま学級」の開講など、人との触れ合いや公園の成り立ちから今日までを知っていただく機会をつくりました。施設面では行政の計らいで、工作棟は冷暖房が整い快適に利用できる施設となりました。里山は、散策路の防護柵新設や竹林の急坂の階段化、農園奥の雑木林の整備などを進めた結果、明るくて快適な環境が整いました。

今年は無年です。ひつじ（未、羊）は一般的にやさしい動物と云われています。善・義・美・群・羨など羊を使った良い字も多くあります。このように今年は無年に合った美しく多くの方が集う公園にしたいと思えます。そのためには多くの方々に公園を知っていただく必要があります。広報活動の活発化が必要だと思っています。明快なアクセス、里山や古民家の紹介と共に公園行事や多岐にわたる手づくり教室など広報を強めたいと思えます。

公園の活動は常に動いていなければいけません。物事の新しい切り口こそが今を動かすと思っています。今何が必要で何が面白いのか、意欲的で積極的な行動と若い頭脳が求められています。新しい方々の参加を期待しています。

慣れに甘んじない行動が必要です。仲間としてお互いに声を掛け合い明日に向け活動を楽しみましょう。

2月15日は、開園記念日です

ふじやま公園は開園して12年。2月15日(日)には12周年記念式典を行います。当日は10時から式典を行い、先着200名の方に紅白餅を進呈します。紅白餅交換券の配布は9時30分から。お誘いあわせの上ご来場ください。

1月26日には古民家防火訓練を実施

1月26日(月)の文化財防火デーの日10時～11時に、栄消防署と協働で古民家の防火訓練を行います。一般の方の消火器訓練もあります。



盛況だった年末餅つき

恒例となった年末の餅つき大会は12月21日に開催され、餅をついたり、ミニ正月飾りや年賀状を作ったりする家族連れで大賑わい。囲炉裏にも火が入り、久しぶりに燻された天井の萱もきつと喜んだことでしょう。



本郷台駅前駐輪場

ギャラリー展示会閉幕

街行く人々に潤いと賑わいを演出した「ふじやま公園工作棟部会」作品展示が終わりました。



お正月の締めくくいは、七草がゆで

年明けの1月11日には、七草と子供遊びの会が開かれ七草には長い行列ができていました。羽根つき、コマ回し、竹トンボなど昔ながらの正月遊びに興じる子供たちの笑顔ははちきれんばかりでした。



古民家 Q&A 千歯扱き

Q: 納屋にある歯のようなものが沢山ある器具は何ですか

A: 千歯扱き(センバコキ)です。稲や麦を脱穀する農具です。

竹や金属の歯(穂または刃とも云う)を櫛の歯のように並べ木台に固定し、それに稲穂をかけて穀粒を扱き落とします。歯は1挺あたり17から27本ほど使われ、台木に櫛状に留めてあります。歯の断面は当初は長方形の平打でしたが、面取打や槍打に改良されました。歯と歯の間隔(隙間)は目といい、稲用と麦用とで異なります。稲用は約1.5mm程度です。千歯扱きは江戸中期に発明され、全国的に広がりました。大正時代になり回転式脱穀機が考案され、千歯扱きは終わりを迎えました。ただし回転式は穀粒を痛めるため、種籾を得るために千歯扱きが昭和時代半ばまで使用されました。



古民家納屋にある千歯扱きは歯の数が21本、幅は15mm、目は1.5mm、長さは25cm、断面は槍打です。小学校の「昔の暮らし」の学習で人気者です。



稲刈りをした後の株に再生した稲を糶(ひつち)と

いうのだそうだ。俳句では秋の季語になっているという。樹木でいうところの蘗(ひこばえ)で、すぐ冬がくるし、いつか晩秋の緑を感じさせてくれる糶田(ひつじだ)もすぐに消えてしまうものなのだが、公園のウルトラ・ミニ田んぼの糶がなんとそのまま成長、2度目の実をつけてしまった。この田んぼ、衣装ケースの転用だが、春には越冬した卵がおたまじゃくしになるなどびっくり続き、自然界の生命力の強さを私たちに見せてくれているかのようだ。

◆ スズムシの越冬



秋の終わり頃まで鳴き声を楽しませてくれたスズムシも、今は卵の状態です。ケースの中で越冬中です。その間、ケースの中の土が乾かない程度に時々霧吹きで湿度を保ちます(但し、水のやり過ぎで土のカビ、凍結などに注意)。3月中旬頃からはケースをやや暖かい所へ置きます(それまでは寒い所でも大丈夫)。4月～6月、外気温が25度を超えるようになると孵化が始まります。毎日の様に生まれるので欠かさずチェックしましょう。今年の秋が楽しみです。



キツタ ウコギ科

本州から沖縄の山野に普通に見られる常緑のツル性植物。冬、風雪に耐える葉は艶やかで美しい。若い葉は三角形や五角形に近いが、茎から根を出し木や岩に付着してはい上がると卵形の葉に変わり、花や実をつける。葉は互生して厚く濃い緑色、秋には小枝に短い花軸を球形につけ黄褐色の花を咲かせる。冬を越した実は春に熟して黒褐色になる。高い木に上ったキツタは冬によく目立つ。



《 お知らせ 》

- ★ 古民家主屋座敷にお雛さまを飾ります
江戸時代後期から平成まで10組以上を飾ります
期 間:2月5日(木)～3月9日(月)
呈 茶:3月1日(日)11時～15時 300円 先着30名
- ★ いろいろ端むかし話の会
いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか
日 時:2月19日(木) 10時30分～11時30分 場 所:古民家主屋いろいろ端
定 員:15名 当日参加自由 無料



27年2月度ボランティア活動予定

部会・事項	日 程	部会・事項	日 程
事務局会議	6日(金)	古民家歴史部会 部会	8日(日)
農芸部会 部会	16日(月)	古文書解読勉強会	1日(日) 22日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	4日(水)
里山部会 作業	14日(土) 21日(土)	クリーンアップ	3日(火) 17日(火)
	22日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	11日(水)	ふじやまだより編集会議	7日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	13日(金)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	3月1日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
炭焼き体験教室 (全3回)	2月21日(土)9時～12時 窯詰め 2月22日(日)9時～16時 火入れ 2月28日(土)9時～12時 窯出し	竹炭を自分の手で焼いて みませんか?	無料	2月16日(月) 10名 (成人)
子ども工作	2月22日(日)10時～12時 " 13時～15時	小鳥の巣箱 (親子、小学生対象)	無料	各先着 10名
大人の竹工作 (全3回)	3月 6日(金)13時～16時 3月13日(金) " " 3月20日(金) " "	雀の学校 (持参:ナイフ)	500円	2月20日(金) 6名
はじめての 篆刻入門 (全3回)	3月 7日(土)9時30分～12時 3月14日(土) " " 3月21日(土) " "	オリジナルの印を刻って みませんか、石印材で朱 文・白文どちらかを製作	1,000円	2月15日(日) 12名
簡単 デコパージュ	3月17日(火)10時～12時	ペーパーナプキンを使い メガネケースをデコパー ージュします。好きな柄を選 び専用糊で貼り付けます	800円	2月20日(金) 8名
フラワーアレンジ	3月19日(木)13時30分～ 15時30分	プリザーブドフラワーで春 色アレンジ (持参:ハサミ・持ち帰袋)	2,000円	3月5日(木) 8名
初心者茶道 体験教室	3月21日(土)13時～16時	日本の「おもてなしの心」 を茶道を通して体験して みませんか (持参:白いソックス)	500円	2月28日(土) 10名
押し花	3月24日(火)13時～14時	18×10センチ額押し花絵	2,000円	2月28日(土) 10名
染色	3月25日(水)13時～16時	ハーブでシルクストール を染めましょう	2,500円	3月11日(水) 10名
布ぞうり作り	3月27日(金)10時～15時	一日で一足完成します	700円	3月5日(木) 12名
里山そば打ち塾	3月28日(土)10時～12時	初心者大歓迎、美味しい そばを打てます、自分で 作った物の試食、持ち帰 りがあります	800円	3月14日(土) 6名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

★12月ふじやま公園来園者数 1,514名 26年度累計 18,282名

・開館時間：9時～17時
・入館料：無料
・休館日：2月4日(水) 毎月第1水曜日
・クリーンアップ：2月3日(火) 17日(火)10時～11時 一斉清掃

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593